

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

～ 雄大な北上川を眺めながら大勢のランナーが駆け抜けた ～

第34回カッパハーフマラソン大会が開催

令和元年12月1日（日）に恒例となった「第34回 カッパハーフマラソン大会」（主催：登米市等）が登米総合体育館を発着とし、北上川沿いを走る日本陸連長距離公認コースで開催されました。

今年は、県内外から約2,900の方が参加し、風もなく穏やかな冬晴れの下、北上川沿いの景色を楽しみながら走ることができました。



ハーフの部のスタートの様子



登米町寺池地内



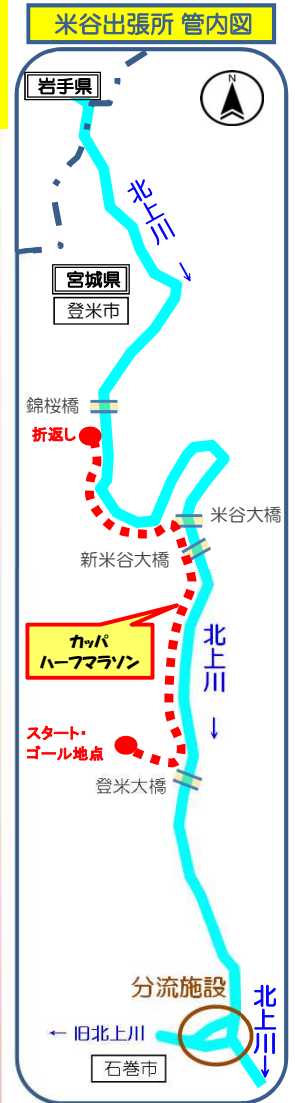
浅水小学校付近

ここは・・・！
河川構造物カードに
なっている**相模土手**

河川事務所の職員もハーフの部に
参加し、見事完走しました！



今年も個性豊かなランナーを
発見！！（^v^）♪



～ 地域を洪水から守るために～

水門等を操作する水位観測員さんの講習会を行いました。

令和元年12月5日（木）に、石巻市の遊学館において水門等水位観測員講習会が行われました。講習会では、洪水時の対応、ゲート操作の注意点や施設点検のポイントなどを再確認していただきました。また、昨今の気象状況は想定できないような降雨をもたらしていることから、水位観測員の方々の防災意識向上を図り、日頃の点検時における注意点の確認や意見交換なども行われました。



分科会の様子

水門等水位観測員は、川が洪水になった際に必要な水門・樋管のゲート操作を行い、川からの逆流を防ぐなど、地域の安全・安心を守るために重要な役割を担っています。

